

環境学習講座（会場：品川区環境情報活動センターほか）

しながわ区民公園で自然とふれあおう！
5月30日（日）講師：環境かぜー 倉田智子氏

開園23年を経た公園は大きく育った木々に囲まれ、緑にあふれ、たくさんの生きものに出会えました。五感を使っての植物や昆虫との出会いは、親子でいろいろな楽しい体験をさせてくれました。



コスタリカは中央アメリカ南部に位置する小国ですが、自然の多様さ、動植物の種類の豊富さには目を見張るばかりだそうです。たくさんの珍しい動植物の話と生きものの不思議な知恵についてユーモアを交えた話でした。



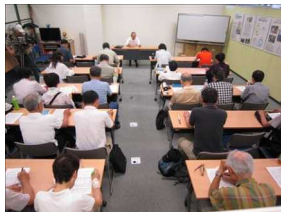
大森貝塚と縄文時代の地球環境（品川歴史館）
6月27日（日）講師：品川歴史館学芸員 白石祐司氏



大森貝塚はすぐ東側が海岸線だったので、主食は木の実、貝や魚であったこと、また通常の集落と異なり、港のような中継地点であった可能性もあるとのことでした。豊富な資料や写真をもとに大森貝塚と縄文時代の地球環境についての講義でした。

食料問題にも環境問題がかかわっている話
7月19日（祝）講師：元防衛大学校教授 小西誠一氏

世界は多くの食料問題を抱えており、そのいくつかは環境問題と複雑に関係しています。食生活の洋風化が日本の食料自給率（約40%）を低くしており、私たちにもその責任の一端があるわけで、米食に戻る、あるいは近海魚を食べるなど自国生産物の利用を心がけることが大切という話でした。



品川の海にすむ魚と環境（しながわ水族館）
6月6日（日）講師：しながわ水族館 三橋孝夫館長他



水族館のバックヤードは飼われている魚や海の生物たちが生存していくために必要な作業場です。水族館では八丈島から舟で運んでくる水、京浜運河の水をろ過した水、水道水を使います。水槽のほか普段は見られない水族館のバックヤード、エサの種類、水の浄化施設などの見学ができ、水族館について一層理解できるようになりました。

エコツーリズム先進国、コスタリカの自然と野鳥を訪ねて
6月12日（土）講師：自然観察大学副学長 唐沢孝一氏

エコツーリズムとは自然・歴史・文化など地域の固有資源を生かして観光することで、講師は昨年ツアーの指導者としてコスタリカを訪問し、そこで出会った動植物を写真で紹介していただきました。

品川区環境情報活動センター 今後のイベント予定

「環境問題は江戸時代を見ると分かる」江戸時代の循環型社会の思想や仕組みを知って現代に活かす話です
日時 / 10月17日（日）14時～16時
対象 / 一般

「秋の寄せ植え」
ノコンギク、アジズリノジギク、イズオトメ等の野菊の寄せ植えです
日時 / 10月25日（月）13時半～15時半
対象 / 一般

「ペットボトルで顕微鏡をつくらう」
飲み終わったペットボトルを使ってシンプルな顕微鏡をつくりまします
日時 / 10月31日（日）14時～16時
対象 / 小学生

「幕末の御台場埋立てと品川宿」
埋立てをめぐるエピソードとその後の御台場警備による品川宿への影響
日時 / 11月13日（土）14時～16時
対象 / 一般

「不思議な光で実験！身近な環境を調べよう」
日時 / 11月21日（日）14時～16時
対象 / 小学生

「野菜と花のコンテナガーデン」
作る・育てる・食す、それぞれの楽しみが味わえる寄せ植えです。小さいけれどマイガーデンを作りましょう
日時 / 11月26日（金）14時～16時
対象 / 一般

講座の名称はいずれも仮称です。応募方法等については「広報しながわ」「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2010年度Vol.2

発行：品川区都市環境事業部
編集：特定非営利活動法人 エコタウンしながわ
発行日：平成22年9月10日
住所：〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区環境情報活動センター内
TEL/FAX：03-5742-6533
E-mail：center@shinagawa-eco.jp
HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています



2010年度 Vol.2

打ち水大作戦 しながわ2010

7月31日（土）15:30から「打ち水大作戦 しながわ2010」の「一斉打ち水」が、宮前商店街をメイン会場として開催されました。

この「打ち水大作戦 しながわ2010」は、地球温暖化やヒートアイランド現象が進んで暑くなっている都市の気温を下げるため、江戸からの暮らしの知恵である「打ち水」をして、町を涼しくしようという取り組みです。連日猛暑が続いており、カウントダウンが始まる頃には32 近くになっていました。



濱野区長をはじめ、皆さん揃ってのテープカットに続き、さあカウントダウン。「しながわを涼しくしよう」の掛け声にあわせ、商店街の方や子どもたちが元気よく打ち水をしました。

打ち水のルール
打ち水に使用した水は区で用意した井戸水、豆腐屋さんからの再利用水、各家庭から持ち寄った風呂の残り湯などで、水道水は使いません。
打ち水前後の温度の変化
周囲の気温は0.8 下がりましたが、地表面では37.4 から30.3 へ約7 下がり、「涼しくなったね」という声が聞かれました。



打ち水をすると涼しくなる理由

水（液体）を熱すると、水は熱（気化熱）を吸収して水蒸気（気体）になります。打ち水をすると路面にまかれた水は気化熱を奪って水蒸気になりますが、その気化熱は水をまいた地面から奪つ

各地で行われている「打ち水大作戦」は、決められた時間にみんなでいっせいに水まきをすることで、地上気温を2 下げようという地球温暖化防止のための取り組みです。



一斉打ち水イベントは30分ほどで終了
参加した皆さんには、打ち水で使ったジョウロや水鉄砲が配られ、楽しかった打ち水大作戦は無事終了しました。



各地で行われている打ち水では「気温を2 下げよう」を掛け声に進められています。果たしてどれくらい温度は下がるのでしょうか。調べてみました。

品川区の「打ち水大作戦」（メイン会場）では、昨年1.3 、今年は0.8 下がりました。各地の報告では1～2.5 と幅がありますが、それぞれ下がったとありました。打ち水を行う時間帯などによって効果に差があるようですが、何よりも涼しさを体感できれば目的は達成されているはずですね。

たものです。これが涼しくなる理由です。入浴後、体をよくふかないでいると、涼しく感じるがありますが、それは体についた水滴が蒸発するとき体から熱を奪うため、これと同じ原理です。

各商店会の打ち水

今年の打ち水大会はメイン会場である宮前商店街のほかに十カ所以上の会場で、主に7月下旬から8月上旬にかけて開催されました。その中から4会場をご紹介します。

二葉中央商店会（品川区立西大井広場公園）

8月7日（土）、品川納涼祭が始まる前に打ち水大作戦が開催されました。使用する水は「雨水」で、公園の隅にある貯水層に貯められた水とのこと。納涼祭に参加する子どもたちや保護者で大変にぎわっていました。竹の水鉄砲が配られ、参加した子どもたちは4時15分の開始時刻より前にたくさん集まり、さっそく水鉄砲で水をまいていました。納涼祭は4時30分開始のため、4時15分に水を入れて待機し、その後「品川を涼しくしよう」の合図で一斉に打ち水を開始しました。大変暑い日だったので、公園の土は白く乾燥していましたが、水をまいたおかげでだいぶ涼しくなった気がしました。



戸越銀座銀六商店街振興組合

平成22年8月8日（日）15:00～
戸越小学校5年生のサッカーチームのメンバーが参加しました。サッカーチームコーチ竹中さんの「うちみず〜！」に続き、子どもたちが大きな声で「だいさくせーん！」、打ち水大会がはじまりました。



環境にやさしい家にしました

区内の西大井のMさんは自然エネルギーを有効利用したエコ住宅にしました。

- (1)経済効果・・・太陽光パネルの設置により、春から夏を中心に余剰電力の売却が多くあり、電気料金の支払いは年額で1/2以下となりました。月によっては実質電気料金の支払いがゼロの月もあります。
- (2)温度上昇の抑制効果（やせ我慢でクーラーは使っていないとのこと）・・・太陽光パネルにより屋上の日射を遮蔽したこと、壁面の緑化により室内温度が確実に下がりました。なお、壁面緑化ではゴーヤが鈴生りで、1シーズン300本強を収穫し、近所の皆さんにも食べて頂いたそうです。
- (3)冬季の暖房費抑制・・・気泡緩衝材を窓や玄関土間の内側に取り付け、暖房稼働時間を半減です。



武蔵小山西口商店街振興組合

こちらは商店街の皆さんが2時に自主的に水をまくスタイルです。7月29日～8月30日までの毎週月・木曜日午後2時に行われました。



戸越銀座商栄会商店街振興組合（平塚二丁目）

環境記者の志賀さんから「水まき大作戦」の記事を投稿していただきました。

7月19日（祝）、平塚二丁目の京陽公園で「水まき大作戦」を行いました。

雨水を京陽公園地下貯水槽に貯め、町会ミニポンプ放水訓練時にも使用している水を使い、お母さんたちと一緒に放水体験もしました。

公園に常備されている土嚢を運び「大きな池」を作り、泥鰌（どじょう）つかみをしながら暑さを吹き飛ばしました。泥鰌には水道の水は適さないため、前々日から井戸水を用意し、当日に備えました。公園に遊びに来ていた幼児も参加した3時間余りのイベントでした。この後、「池」の水を使って公園に打ち水をしました。

平塚二丁目町会内には多くの井戸があり、現在も活躍（非飲料水）しています。町会会館も井戸水を使い、プランターへの散水、イベントの道具類洗い等、一年を通して使用しています。



シナガワハギがきれいな黄色の花を咲かせました

前号で「シナガワ」の名前がついた植物「シナガワハギ」をご紹介しましたが、こんなにきれいな花を咲かせてくれました。（8月16日撮影）
（環境カウンセラー 倉田智子氏提供）



夏休み子ども環境学習講座

品川区環境情報活動センターでは区民を対象とした環境学習講座を開催しております。夏休みは子ども参加の2講座を開催しました。

自然たいけん隊 7月27,28,31日

（環境情報活動センター、しながわ中央公園）

講師：NPO法人生態教育センター村松亜希子氏、皆川紀子氏

五感を使った自然体験プログラムで、自然観察をしながら楽しく学ぶ体験型の環境学習講座です。

1日目「みる、きく、におう、さわる、あじわう！五感で自然遊び」

写真の中の木や葉っぱに隠れている虫探し、蝉の声の聞き分け、フィルムケースに入った5種の違う葉っぱのにおいのかぎ分け、箱の中にある葉っぱを見ないでさわって一人づつ当ててみる、最後ははちみつの種類当てと、五感をフル活用しました。しながわ中央公園ではいろいろなチョウとその幼虫を発見。「ふわふわしたもの（葉っぱ）」「いい匂いのするもの」など、自然宝探しゲームもしました。



2日目「遊んで発見！植物の魅力」

動植物についてみんなどれくらい知っているかな？

同じ形の葉っぱ探しや葉っぱジャンケンをしました。植物に詳しい人も、実際に葉っぱの形などの特徴を見て、それがどんな植物なのかを調べますよ。

公園にある植物を探すゲームでは、おもしろい形、赤い葉っぱなどの特徴をもった植物を探しました。

葉っぱにアクリル絵の具を塗って無地のエコバッグに押し付け、葉っぱスタンプでつくったオリジナルエコバッグが出来上がりです。

3日目「生きものに挑戦！」

いろいろなにおいを嗅ぎ分けます。ベニザケは生まれた川のおいを覚えていて、海から川に戻るといわれています。みんな戻れたかな？音をたてないキツネの歩き方を真似しました。足の裏を「かかと 足の裏の外側 全体」の順に置くと音が出にくかったですね。

公園ではセミとアリの観察をしました。アリの巣は意外と大きいですね。アリとセミについてのクイズを行い、新しいことを勉強しました。



キッチンからはじめるエコロジー 地球にやさしい旬の料理をつくろう！

8月9,10,11日

（品川介護福祉専門学校内 調理実習室）

指導：東京ガス株式会社南支店

エコクッキングインストラクターの皆さん

「買物 料理 片付け」、料理の際に心がけたいエコロジーに関する講座でした。

旬の物を食べる なるべくごみの出ない包装を選ぶ 生ごみはチラシで作ったごみ箱に入れる ガスの火はナベ底をはみ出さない ナベ蓋をする...など、覚えて習慣付けたいですね。

今回のメニューは「ドライカレー&キャロットオレンジ寒天」です。

野菜は使えるところぎりぎりまで...、捨てるのはほんの少しです。人参は皮ごとすりおろします。生ごみをチラシで作ったごみ箱に入れるのは、三角コーナーに生ごみを溜めておくと、水を流すたびに生ごみが水を汚してしまうためです。水を加える時フライパンや調理器具に残っている食べものは水を加えながら無駄なく使います。ごはんは食べられる分だけ盛りましょう。全部の班が勉強したことを意識しながら作ることができたようです。残さず食べるのもエコロジーですね。いただきま〜す

お皿や容器・道具類は古布でまず汚れをふいてから洗います。こうすることで8割がた汚れが落ちたことになるそうです。水は出しっぱなしにしないで、今回はボールに洗剤を薄めて行いました。濃いままではムダに泡立過ぎてしまい、よくありません。流しは川や海に繋がっているイメージを持ちましょう。ごみを減らす、水を汚さない...習った事をすぐ実践する、楽しくおいしい講座でした。

調理器具に残っている食べものは水を加えながら無駄なく使います。

ごはんは食べられる分だけ盛りましょう。

全部の班が勉強したことを意識しながら作ることができたようです。残さず食べるのもエコロジーですね。いただきま〜す

